

国語科学習指導案

指導者 北広島町立八重小学校 脇安 俊之

1 研修テーマ 文章の内容を正確に理解し、考えを形成する力につなげる指導

2 日 時 令和5年12月7日(木)第4校時

3 学 年 第2学年1組 男子15名 女子16名 計31名

4 単元名 説明的な文章を読んで、感想を伝え合おう
「どうぶつ園のじゅうい」(光村図書 こくご二上「たんぼぼ」)

5 単元について

(1) 単元観

本単元は、主として小学校学習指導要領(平成29年告示)国語第1学年及び第2学年の〔思考力、判断力、表現力等〕C「読むこと」の指導事項「(1)オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。」を受けて設定している。「文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ」力を育成するには、文章の内容を、自分が既にもっている知識や実際の経験と結び付けて解釈し、想像を広げたり理解を深めたりし、文章の内容に対して児童一人一人が思いをもつことが必要となる。

本単元で扱う教材文「どうぶつ園のじゅうい」は、動物園に勤務する獣医の一日の生活が時間軸に沿って説明されているため、時間的な順序を考えながら内容の大体を捉えて読む力を身に付けさせるのに適している。また、自分の一日の暮らしと比べながら読むことで、自分の経験と文章の内容を結び付けて理解を深め、動物園の獣医の仕事に対する感想をもつことにも適していると考えられる。

(2) 児童観

本学級の児童は、説明的な文章を教材として扱った前単元である「たんぼぼのちえ」で、時間の順序や理由を表す言葉等に注目しながら読むとともに、叙述と挿絵を結び付けたり動作化したりすることで、内容理解を深めた。しかし、問われている内容を叙述から見付けずに挿絵のイメージを頼りに答えたり、時を表す言葉は見付けていても、たんぼぼが変化の様子やその理由をとらえられなかったりする児童がいた。初読の文章では、自分で接続詞や時間を表す言葉に注目しながら読み、その内容を理解することに困難さを見せる児童がいるなど、課題がある状態である。

また、初発の感想を交流する経験はあるものの、文章の内容と自分の知識や経験とをどのように結び付けたのかを明らかにし、文章の内容への理解を深めた上で感想をもつという、本単元で主たる指導事項として取り上げている資質・能力を身に付けるための学習はまだ行っておらず、どのような知識や経験を想起させるのか、どのように文章と結び付けて理解を深めるのかといった部分には丁寧な手立てを講じる必要があると考えられる。

(3) 指導観

指導に当たっては、教材文の題材である、獣医の仕事や動物に関わる本を読み聞かせたり学級文庫に揃えたりし、単元全体を通して児童の読書の幅を広げることをねらう。

第1次では、「動物園のじゅうい」を読み、初発の感想を交流する。その際、正確な内容理解へとつなげるために、獣医は「だれのために仕事をするのか」ということをおさえたい。第2次では、時を表す言葉を手掛かりにして、筆者が「いつ」「どんな仕事をしたのか」を表に整理し、時間的な順序を考えながら、正確に文章の内容の大体を理解するために活用する。また、「毎日する仕事」と「限られた日にのみする仕事」に分類することで、共通・相違の関係をとらえさせ、文章の内容理解を確かなものにする。第3次では、獣医と家族の仕事と比べることで、文章の内容と自分の体験とを結び付け、文章の内容を自分ごとの解釈にした上で感想を文章化し、交流することとする。その他、次の2点に留意して指導を行う。

①教材文にある動物園に勤務する獣医の一日と、家族など身近な人の一日を比べながら読むことで、既存の知識や経験と結び付けながら読み、理解を深める過程を意識させる。その際、②に述べてい

る時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えることとも関連させ、文章の部分ではなく全体をひとまとまりとして内容理解することにつなげたい。

②時間を表す言葉や理由を表す言葉を囲ませたり、仕事やその理由にサイドラインを引かせたりして、読み進めていく。時間的な順序を表す言葉を手がかりにして、仕事を時系列に並べて整理しながら時間的な順序を表す言葉の役割を考える活動を通して、内容の大体を捉える力を身に付けさせることをねらう。

6 単元目標

○共通、相違など情報と情報との関係について理解することができる。

〔知識及び技能〕（（2）ア）

○時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕（思C（1）ア）

○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕（思C（1）オ）

○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

7 単元の評価規準

動物に関わる仕事を説明した文章を読み、分かったことや考えたことを伝える活動。 【言語活動例 ア】		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 共通、相違など情報と情報との関係について理解している。 <p>（知（2）ア）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 <p>（C（1）ア） （C（1）オ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進んで、文章と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習課題に沿って考えたことを伝えようとしている。

<評価の具体及び手立て>

	評価規準【「おおむね満足できる」状況（B）】	「努力を要する」状況（C）と判断した児童への指導の手立て
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。 <p>（ワークシートに記述する内容例）</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝の仕事としてどうぶつ園の見回りをします。毎日見回りをするのでどうぶつのようなすが分かり、びょうきになったとき、すぐに気づくことができます。 お昼すぎにワラビーの家に行き、はぐきをはれているのでちりょうをしました。けがやびょうきがあるときは、じゅういさんがちりょうをします。 どうぶつ園を出る前には、かならずおふろに入ります。どうぶつの体には、人間のびょうきのものになるものがついているので毎日体をあらいま 	<ul style="list-style-type: none"> 掲示している、文章の内容をまとめた表を指し示したり、時計を用いたりしながら、時間を表す言葉に印を付けるなどして、時間の経過に着目させる。 音読しながら、適宜、教師が児童に「このとき何をした？」「それはどうしてだろう？」と尋ね、文章の内容を確認する。

8 指導と評価の計画（全12時間）

次	時	学 習 内 容	評 価			
			知	思	主	評価規準・ 評価方法 等
一	1 2	○動物園の獣医について知っていることを話し合う。 ○学習課題を設定し学習の見通しをもつ。 ○教材文を読み、初発の感想を書き、交流する				
二	3 4 5 6 7 8	○時間を表す言葉に気を付けて読み、内容の大体をつかむ。 ・文章を「はじめ」「中」「おわり」の三つのまとまりに分ける。 ・段落ごとの時間を表す言葉を確認する。 ○時間の順序を表す言葉に着目しながら、獣医が行っている仕事を表に整理する。 ①朝の見回り ②動物の診察 ・イノシシ ・ニホンザル ・ワラビー ・ペンギン ③日誌の記入 ④入浴		○		[思考・判断・表現] <u>(ワークシート・発言)</u> ・「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。
	9 (本時)	○獣医の「毎日する仕事」, 「その日した仕事」を分類し, 理由をまとめる。	○			[知識・技能] <u>ワークシート</u> ・共通、相違など情報と情報の関係について理解している。
三	10 11 12	○獣医の仕事と, 家族の一日についての知識や経験と結び付け, 考えたことや文章の内容に対する感想を書く。 ○書いたものを発表し, 感想を伝え合う。		○		[思考・判断・表現] <u>ワークシート・発言</u> ・「読むこと」において, 文章の内容と自分の体験とを結び付けて, 感想をもっている。 ○ [主体的に学習に取り組む態度] <u>児童の様子</u> ・進んで, 文章と自分の体験とを結び付けて感想をもち, 学習課題に沿って, 考えたことを伝えようとしている。

9 本時の学習

(1) 本時の目標

獣医の「毎日する仕事」「その日した仕事」を分類することで、共通、相違など情報と情報の関係を理解することができる。

(2) 学習の展開

学習活動	○指導上の留意点 □主な発問 ・予想される児童の反応 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
1 前時を振り返り、学習内容を確認する。	□昨日獣医さんがいつ・どんな仕事をするのかをまとめましたね。その仕事は、「毎日するしごと」か、「その日したしごと」か、獣医さんになりきって考えてみましょう。	
めあて 「毎日するしごと」と「その日したしごと」に分けてその理由を考えよう。		
2 個人で音読をする。	□その仕事は「毎日するしごと」と「その日したしごと」のどちらなのか、考えながら音読しましょう。 ◆「段落番号」, 「時間」「仕事内容」の書かれた獣医の仕事カードを配付し、それぞれの獣医の仕事と一緒に確認する。	
3 獣医の仕事カードをワークシートの上で分類させる。	□獣医の7つの仕事を「毎日するしごと」, 「その日したしごと」に分けてみましょう。 ○「動物園の見回り」を例として取り上げて「毎日するしごと」「その日したしごと」を一緒に考える。 ○残りの6つの仕事については個人で分類する。 ○順番を間違えても、後に板書を見ながら修正し時系列に並べる。	
4 ペアで獣医の仕事を確認する。	◆仕事カードの操作が難しい児童には、ワークシートに獣医の仕事写真カードをワークシートに貼り付ける。	
5 全体で確認する。	□6つの獣医の仕事は、「毎日するしごと」か「その日したしごと」のどちらでしょうか。 ○板書では、7つの仕事が一覧できるように、黒板に獣医の仕事写真を掲示する。 ・イノシシの赤ちゃんの検査は「その日したしごと」です。 ・さるに薬を飲ませる仕事は「その日したしごと」です。 ・ワラビーの歯茎の治療は「その日したしごと」です。 ・ペンギンからボールペンを吐かせる仕事は「その日したしごと」です。 ・日記を書く仕事は「毎日するしごと」です。 ・お風呂は仕事が終わって毎日入るから、「毎日するしごと」です。	
6 「毎日するしごと」「その日したしごと」の理由を考える。 ①個人思考	□なぜ「毎日するしごと」と「その日したしごと」があるのでしょうか。 ○「毎日するしごと」か「その日したしごと」に分けた理由をワークシートに書く。	[知識・技能] (ワークシート) ・共通、相違など情報と情報の関係について理解している。

<p>②ペアで「インタビュー」役と「獣医」役になって考えを伝え合う。</p> <p>7 全体で理由を確認する。</p> <p>8 本時を振り返り、学習のまとめをする。</p>	<p>□ 獣医役とインタビュー役に分かれて考えを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インタビュアー⇒獣医さん、なぜ、いのししのお腹に機械を当てる仕事は、「その日したしごと」なのですか。 ・ 獣医⇒赤ちゃんがいることはもう分かっているので、その日だけだと思います。人間のお母さんも時々、病院へ行ってお腹の中を見てもらうからです。 ・ インタビュアー⇒獣医さん、なぜ動物園の見回りは「毎日するしごと」なのですか。 ・ 獣医⇒動物たちの様子をよく見ておかないと病気や怪我をすぐに発見できないので、見回りの仕事は「毎日するしごと」なのです。 ・ 獣医⇒毎日しないと、動物たちに声や顔を覚えてもらえないからです。 <p>□ 「毎日するしごと」の理由を発表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物の病気を知ることや、飼育員の顔を覚えてもらうためだからです。 ・ 毎日の動物の様子が分かるように日記を書くためです。 ・ 毎日お風呂に入るのは、病気のもとを外に持ち出さないためだからです。 <p>□ 「その日したしごと」の理由を発表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物のけがや病気は突然起こることがあるからです。 <p>□ 今日学習したことで学んだことや気付いたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 獣医さんの仕事には、動物の様子を記録したり、病気のもとを持ち出さなかったりすることに気を付けなくてはいけないから「毎日するしごと」があることと、その日の動物の様子に合わせて、突然起こる病気や怪我を治さなくてはいけないから「その日したしごと」に分かれることが分かりました。 	
---	---	--

(3) 板書計画

十二月 七日 木曜日

どうぶつ園のじゅうい

うえだ みや

<p>毎日するりゆう</p> <p>⑧ どうぶつ園 を出るまえ</p>	<p>お風呂写真</p> <p>おふろに入る</p>	<p>日記写真</p> <p>日記を書く</p>	<p>動物園マップ</p> <p>② 朝</p> <p>どうぶつ園の見 回り</p>
毎日			
<p>その日だけ のりゆう</p> <p>⑦ 夕方</p> <p>ペンギンからボール ペンをはかせる。</p>	<p>ペンギン写真</p> <p>ペンギンのはぐき のちりよう。</p>	<p>ワラビー写真</p> <p>⑤ お昼すぎ</p> <p>ワラビーのはぐき</p>	<p>ニホンザル写真</p> <p>④ お昼まえ</p> <p>ニホンザルにくす りをのませる。</p>
その日			
<p>イノシシ写真</p> <p>② 朝</p> <p>どうぶつ園の見 回り</p>			

◎「毎日するしごと」と「その日したしごと」を分けて
そのりゆうをかんがえよう。

③ 毎日どうぶつ園のようすをしるためのしごとや、その日に
おこるびようきやけがのちりようするしごとなどがある。

・ どうぶつ園のびようきをしるこ
とや、しゆくいんのかおをお
ぼえてもらうため。
・ 毎日のどうぶつ園のようすが分
かるように日記を書く。
・ びようきのもとを外にもち出
さないためにおふろに入る。

10 指導の実際

(1) 指導上の工夫

① 教材文の題材への興味を引き出す工夫

本単元の学習に入る前から、動物に関わる仕事を説明した本や図鑑、動物の生態を説明した本や図鑑等を学級文庫に置いたり、安佐動物公園内マップを掲示したりして、教材文の題材について児童の興味を引き出せるように環境を整えた。

また、学習の導入時に並行読書させたい本の「考え聞かせ」を行うことで、「獣医さんがどのような仕事をしているのかもっと知りたい。」などという思いもたせておいた。

毎時間の授業の導入では、獣医や動物に関するクイズを出すことで、動物に興味のなかった児童は、少しずつ興味・関心が高まった。

② 文章の内容を正確に理解させる工夫

学習の中では、順序を表す言葉、獣医の仕事やその理由を、一人一人がカードを並べ替えたり、文章から必要な事柄を抜き出したりする活動で文章の内容をどのように理解しているのかを表現させるようにした。また、文章を読んで理解することに課題がある児童には写真を指し示しながら文章を読むなどの個別の対応をした。教科用図書のほかに、文章を1枚に印刷したものを用意し、時間を表す言葉や理由を表す言葉を囲ませたり、仕事やその理由にサイドラインを引かせたりした。仕事の内容をカードに書き、文章と対応させながら仕事を時系列に並べて整理する活動を通して、内容の大体をとらえることができた。

③ 教室掲示について

文章だけでは理解が難しいと考えられる内容の理解の補助となるよう、動物園の地図、動物園にいる動物の名称と写真、飼育員の仕事をまとめた模造紙、獣医とその仕事に関する情報をまとめた模造紙（治療の際に用いる言葉、医師の名称）を掲示した。

(2) 児童のつまづきと実際に講じた手立ての具体

① 時間的な順序について

「いつ」「しごと」「りゆう」「くふう」など、読み取る視点を明確に示すようにした。また、読み取ったことを表にまとめ、可視化したことで、児童はそれぞれの事例を比較し、時系列での仕事の変化にも気付くことができた。

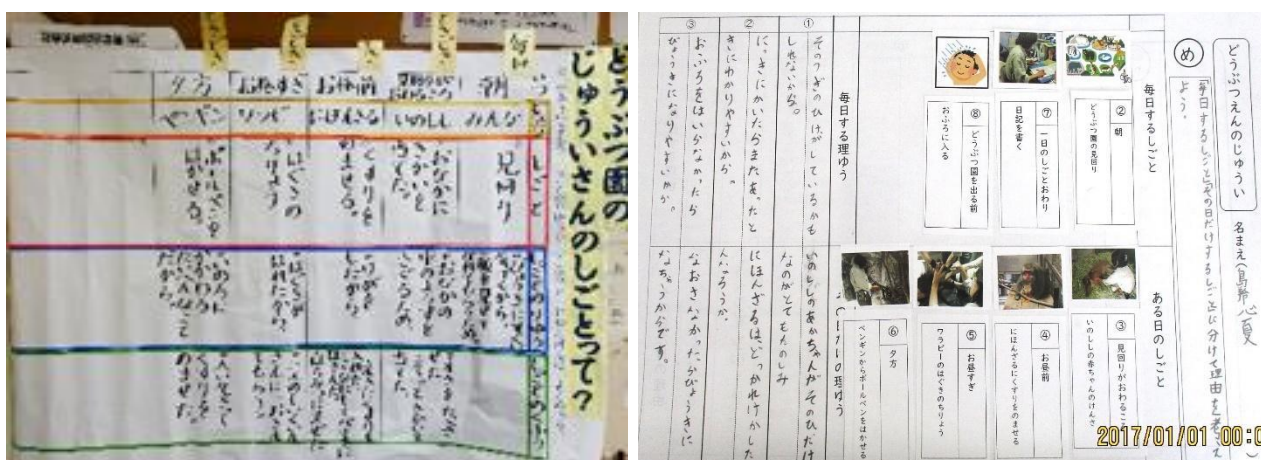
②獣医の仕事について

獣医の仕事を探す場面では、「努力を要する」状況（C）にあると判断した児童には、「毎日の仕事」と「その日した仕事」が分けやすいように仕事カードを準備した。仕事カードには本文に書かれている獣医の仕事のカードにして、文を書くのではなく、カードを操作できるように工夫した。

仕事カードの操作が難しい児童には、獣医の仕事の写真をワークシートに貼り付けた。獣医の仕事の写真をワークシートに貼り付けることで、仕事カードと一致させることができた。

文章と自分の体験をどのように結び付けるか、児童の考えを広げるために、獣医はなぜそのようなことをしたのかを話し合い、自分の体験と結び付くものをワークシートに書くことで、文章の内容と自分の体験とを結び付けるための手立てとなった。

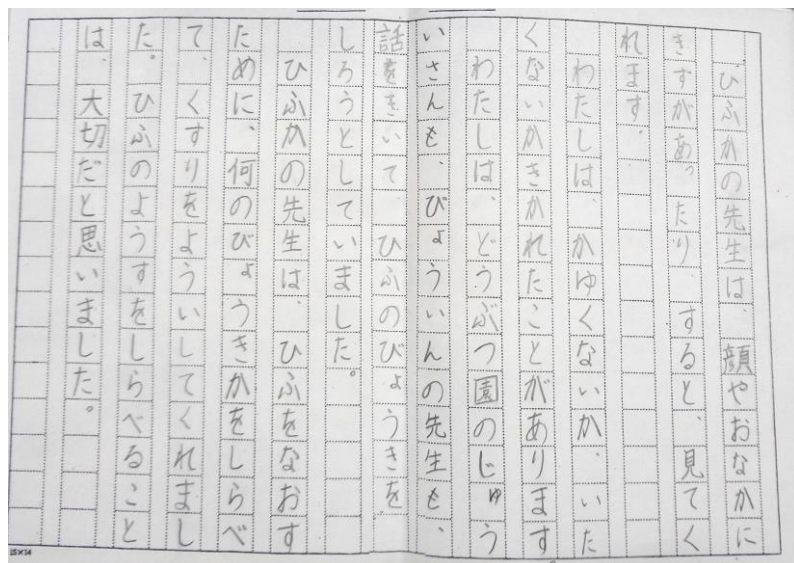
自分が理解したことを交流する場面では、インタビュー形式で話し合うという活動を設けた。自分の考えを上手く表現できない児童には話型を提示した。インタビューを受ける獣医さん役とインタビューア役という役割を与えることで、子どもが役になりきり、進んで話し合えるようにした。



獣医の仕事をもとめる時に、掲示を黒板に張り出して、一緒に確認してきた。前時に獣医の仕事をもとめたことから、本時の学習では、「毎日する仕事」「その日した仕事」に分類した。

11 評価の実際

(1) 評価の具体



左の写真は、「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことについて、「おおむね満足できる」（B）状況にあると評価した児童の評価物である。

(2) 評価の実際

- ①「読むこと」において、時間的な順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができた児童は、92%であった。
- ②「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができた児童は、72%であった。

12 成果と課題

(1) 成果

毎時間、並行読書できる時間を5分程度確保してきた。読んでいる本に、気になったところやびっくりしたこと、疑問など、児童の考えを引き出すために効果的だった。並行読書によって「獣医さんの仕事についてもっと知りたい。ほかにどんな仕事をしているのかな。」など、さらに関心が喚起されたため、教材文を繰り返し読み、読んで考えたことを伝えている姿につながったと考える。

また、ペアで話し合いを意図的に取り入れたことで、自分の考えを伝えたり、整理したり、ヒントをもらったりすることができた。友達と意見を交流したことで、自信をもって全体の場で発言する児童も増えてきた。

(2) 課題

文章で説明されている内容を理解するための児童の既存の知識が多くなかったことから、既存の知識や経験を想起させたり、教材文の題材に対する興味・関心を喚起したりする手立てがもっと必要であった。文章の内容を理解する際には、主語・述語の関係の取り違えや語彙の少なさから、正しい理解に難しさを見せる児童もいた。適切に動作化等を取り入れて内容理解を促す工夫や、日常的に語彙の拡充ができるような家庭学習の在り方、教師の言語環境の作り方等の工夫も必要であると感じた。

また、文章を読んでもたせた感想は文章にまとめることとしていたが、書きまとめるための手立てが不十分であった。

(3) 今後に向けて

学習の中では、ワークシートを使用したが、ワークシートで学習を進める中で、文字、絵、図などどのように活用するのかを明らかにしておく必要があった。また、ワークシートを活用する場合は、児童の実態に応じて、発問や個別の指示を検討し、「絵を手がかりにして考える。」、「絵と本文を手がかりにして考える。」、「本文を手がかりにして考える。」など全ての児童がねらいを達成できるよう留意する必要がある。

付録 選書リスト

書名	著者名	出版社名
どうぶつ園のじゅうい びょうきやけがをなおすしごと	上田 美弥	金の星社
どうぶつ園のじゅうい ぜつめつからすくうしごと	上田 美弥	金の星社
どうぶつ園のじゅうい 赤ちゃんをまもるしごと	上田 美弥	金の星社
くらべてみよう！どうぶつの赤ちゃん ライオン	ますい みつこ	ポプラ社
くらべてみよう！どうぶつの赤ちゃん カンガルー	ますい みつこ	ポプラ社
くらべてみよう！どうぶつの赤ちゃん チンパンジー	ますい みつこ	ポプラ社
くらべてみよう！どうぶつの赤ちゃん リス	ますい みつこ	ポプラ社
くらべてみよう！どうぶつの赤ちゃん パンダ	ますい みつこ	ポプラ社
くらべてみよう！どうぶつの赤ちゃん ゾウ	ますい みつこ	ポプラ社
くらべてみよう！どうぶつの赤ちゃん きつね	ますい みつこ	ポプラ社
どうぶつげんきにじゅういさん	山本 省三	講談社